

森林教室に強い味方！～オリジナル林業普及パネルを作成～

宮古下閉伊地区林業改良普及協会(会長 佐々木良一郎、会員数41名)では、同会の独自事業としてオリジナルの林業普及パネルを作成しました。

ことのきっかけは、昨年2月に開催された総会で佐々木会長が、「子供が自分の家の山がどこにあるのかも分からなくなっている。子供が山へ出かけるきっかけを是非とも作ってほしい」との熱い要請を受けてのもの。

そこで、森林教室等の取組みを強化するため、森林の役割を分かりやすく説明でき、屋外での使用に耐え、持ち運びに便利なパネルを整備しようと検討した結果、市販品で目的に合うものがなく、オリジナルで作成することになったものです。

パネルは、仕様をA1判、ゲーターフォーム紙出力貼り、両面ラミネート加工とし、内容は森林の役割別に、「水害防止」、「水源涵養」、「山地災害防止」、「地球温暖化防止と間伐の必要性」の4種類としました。

作成にあたっては、説明する側の知識や経験に左右されることなく、合理的で分かりやすい説明ができること、地元の写真で具体的事例を紹介し聞き手の興味が湧くようにすることなど工夫しました。

また、オリジナルで作成したことにより、予算を抑える効果もありました。

完成したパネルは、宮古農林振興センター林務室が行う森林教室等で活用することはもとより、会員へ無料で貸出することにより、普及活動の底辺拡大と、新規会員の確保につなげていきたいと考えています。



オリジナルイラストで分かりやすく図解



イーゼルで自立します



4枚まとめて持ち運びも楽!